

応用物理学会 2019年春季学術講演会シンポジウム
2019年3月10日(日) 於 東京工業大学 大岡山キャンパス
※本シンポジウムへの一般講演も募集しております
登壇申込締切:2019年1月9日

カーボン系材料プラズマプロセス の現状と課題

アモルファス、グラフェンやカーボンナノチューブ、ダイヤモンドなど、古くから知られるものから比較的新しいものまで、多様な同素体を持つカーボン系材料が、機械的用途からエレクトロニクスまで幅広く活躍しています。

これらの炭素材料の機能を最大化して利用するためのプラズマプロセスには未だ多くの課題が残されています。本シンポジウムでは、各分野第一線で活躍されている研究者から御講演頂き、これらの**カーボン系材料の現状に加え、適用されるプラズマプロセスにおける課題、今後の展望**に関して議論する予定です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

講師	講演内容 (予定)
渡邊 桂 (東芝メモリ)	3Dメモリデバイスを指向した カーボン膜エッチング
平塚傑工 (ナノテック)	DLC成膜技術の最新事情と今後の展望
伊藤篤史 (NIFS)	炭素材料のプラズマ反応素過程の 分子シミュレーション
加藤俊顕 (東北大)	グラフェンプロセスの最新事情
波多野睦子 (東工大)	ダイヤモンドエレクトロニクス/量子デバイス におけるプラズマプロセス課題

プラズマエレクトロニクス分科会 担当幹事
山田英明 (産総研)、古閑一憲 (九州大)、酒井道 (滋賀県立大)